

新委員長の抱負

意識改革委員会

委員長 安養寺 務
副委員長 山根 雅子

本年度、意識改革委員会の委員長を務めます安養寺です。私のような者が委員長をしてもいいのかと思っておりますが、微力を尽くしたいと思っております。

さて、当委員会では「人間力」を学ぶことを通し、自己の「意識改革」を図るということテーマとして掲げております。自分の意識を変えるには、知力、コミュニケーション力、実践力など様々な能力を磨き、人間力を高める必要があると考えております。

昨今、企業の不祥事が相次いでおります。経営者が頭を下げているシーンもよく目の当たりにします。果たして他人事なのであるのか。今一度よく考えてみたいと思っております。

テーマは難しいですが、堅苦しい委員会にはしたくないと思っております。委員会のメンバーはもちろん、会員皆様のご指導を賜りながら充実した委員会活動をしていきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いたします。

フロンティア委員会

委員長 鶴巻 順
副委員長 井崎 行博

昨年度に引き続きまして委員長を務めさせていただきます鶴巻です。

さて、本年度は谷口会長より「人間力」というキーワードをいただき、言葉から魅力ある人間・だれからも愛される人間という人物像を想像いたしました。そこで、委員会名を「フロンティア」と名づけ、自分の内面を「開拓」していくことを目標といたしました。自分を磨くということは、口で言うのは簡単ですが、幅が広く、個々が目指す方向が様々であり、大変難しいテーマと認識しております。その中でも特に、人と人との繋がりがあひ、コミュニケーション能力の向上ということに注目いたしました。自分の思い・考え・知識を伝える能力は、ビジネスシーンに限らず、人間社会において必要不可欠な能力だと考えます。まずは委員会内において何でも話し合える雰囲気を作り、和気あひあい、激論の交わらせる委員会を作りたいと思っております。

谷口会長・平井担当副会長のご指導、井崎副委員長のサポートを頂戴しながら、1年間がんばりたいと思っております。よろしくお願いたします。

クロスメディア委員会

委員長 山本 浩
副委員長 上田 貢司

今年度、初めて委員長をさせていただきます山本です。

副委員長の経験無しに、いきなり委員長の大役を仰せつかり若干緊張しておりますが、まずは委員会メンバーのコミュニケーションを最優先に置きたいと考えております。

また、当委員会では、各メンバーがチームを組んで他委員会活動を訪問、取材し、新たに作成するブログにて活動の様子を発信する、という計画を組んでいます。

名前の如し、色々なメディアを使い青年中央会の内外をクロスオーバーさせる委員会でありたいと思っております。

その節は、各委員長様、並びに会員の皆様、ご協力のほどよろしくお願いたします。

カイゼン委員会

委員長 林 正太郎
副委員長 森原 義博

この度、カイゼン委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました林でございます。「カイゼン(改善)」とは、作業効率のUPを目的とした手法で、トヨタ生産方式の中にある一つとして世界的に知られている手法です。

また、どの事業所でも簡単に導入することが出来ます。当委員会では活動テーマを、「現場力(職場力)を相互に高め合い、仕事に直結した活動を行う」とし、各事業所の活性化に結びつくよう、職場力イゼンに注力していきたいと思っております。

そしてなにより、委員一人ひとりの絆を大切に、横のつながりを深め、輪を広げていきたいと思っております。

私自身初めての委員長であり、まだまだ青二才ではありますが、会員の皆様並びに、委員の皆様の絶大なご支援、そしてご協力を宜しくお願申し上げます。

経営計画委員会

委員長 水野 一久
副委員長 藤原 正実

平成19年度、経営計画委員会を担当させて頂きます。谷口会長から「夢現力」というテーマを頂きました。「夢を現実にする力」と言うことで。私自身、青年中央会に入会し3年目を迎え、会の仲間と夢を語る事が多くなってきましたが、その夢が実現しているかどうかは疑問が残ります。ただ、何となく夢を持っていても、計画的に行動していかなくては現実にならないと考えるようになってきました。

そこで当委員会では経営計画書の作成を勉強していきます。経営計画書を作成し、それに沿って実務の場で行動したいと考えております。ゆっくり楽しく作成し、各過程において委員会ディスカッションを行い、良いところ悪いところを指摘しあひながら、経営者(経営幹部)の本気・覚悟が伝わる経営計画を作成したいと思っております。「夢が実現する!」特にビジネスにおいて実現する事を一番考えながら、一年間やっていきます。どうぞ宜しくお願致します。

身近ing委員会

委員長 川口 孝治
副委員長 河場 和重

平成19年度「身近ing(シンキング)委員会」委員長の川口でございます。

当委員会は、現在大きな問題となっている「環境問題」をテーマに活動して参ります。地球温暖化等の「環境問題」を身近な問題として捉え、どう向き合って行けば良いのかを考え実践していきたいと思っております。

また、委員会メンバー同士が身近に感じられるよう親睦を図り、全員参加で楽しく充実した委員会活動をしていきたいと思っております。一年間よろしくお願致します。

infomation

平成19年度	役員会 ホテルモナーク	例会 ホテルニューオータニ	四役会 対翠閣
平成19年	7月5日(木) 新役員会	19日(木) 通常総会	26日(木)
	8月2日(木)	18日(土)・19日(日) 親子ふれあい24時間	30日(木)
	9月6日(木)	20日(木)	27日(木)
	10月4日(木)	18日(木)	23日(火)
	11月1日(木)	15日(木)	29日(木)
	12月6日(木)	20日(木) 懇親例会	27日(木) 忘年会
平成20年	1月10日(木) 新年会	24日(木) 新年例会	31日(木)
	2月7日(木)	21日(木) 臨時総会	28日(木)
	3月6日(木)	19日(水)	27日(木)
	4月3日(木)	20日(日) フラーフェスティバル(湖山)	27日(木)
	5月8日(木)	22日(木) 委員会活動報告	29日(木)
	6月5日(木)	19日(木) 臨時総会・卒業例会	26日(木) 新旧三四役会

infomation



綱領

- 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成18年度会長



井上法雄

いよいよ新年度の始まりとなりました。

平成19年度谷口新会長に大きな期待を持ちながら、直前会長として、陰で支援することができればと考えております。

鳥取県東部中小企業青年中央会は30周年を機に、40周年を目指し、会の価値を高めるために4つの挑戦をつくりました。(ホームページ

行動指針の中にあるので何度も読み返してみてください。また、わからないことは、委員長にお聞きください)

青年中央会活動一年間の中では、二つの大きなテーマに挑戦していきます。

『時代に挑み、次代を創る。』の精神をもった4つの挑戦、そして、その年度の会長テーマ。これは、会社で言えば事業計画に当たるものです。40周年に向けた長期事業計画とその会長年度の短期事業計画、この二つをテーマとして、テーマに沿った活動を行っていきます。ここで最も重要なのは、行っていることがテーマに沿っているかどうかです。活動の方針、方向性に迷ったとき、どうすべきか、すべてこのテーマに沿っているかどうかで判断することができます。

以前にもお書きしましたが、今、まさに時代の大きな転機に差し掛かっています。すべての社会構造自体が見直しを迫られているかもしれません。そして、そのあとに新しいものが生まれる、これは会のテ

平成19年度会長



谷口昌弘

第33代鳥取県東部中小企業青年中央会会長の谷口昌弘です。東部青年中央会は今年度で33年を迎えます。歴史ある鳥取県東部中小企業青年中央会会長の重責にかなりのプレッシャーを感じておりますが自分流で精一杯努めさせていただきます。

今年度のテーマ「次代を見る」 基本方針「感性を磨け!」

時の息吹を感じ次代を見る心をつくり、全会員が一致団結して鳥取県東部中小企業青年中央会を環境にやさしい会、自慢できる会にして誰もから素敵だと思われる会を目指します。

30周年を機に東部青年中央会は「時代に挑み、次代を創る。」をキャッチフレーズのもと、会の行動指針4つの挑戦を掲げ年々進化してきています。「感動」「メンタリングマネジメント」を通じて学んだ価値観の転換、究極のリーダーシップ論、いずれも経営者、経営幹部には必要な発想です。この方向性を継承し進化させていくことを基本として会員、会員家族、会員企業のために会にしていきたいと思っております。

一マでもある『時代に挑み、次代を創る。』スクラップ&ビルドはまさに今を象徴している言葉かもしれません。

水は自然に流れるべき方向に流れます。

大きな水(時代)の流れの中で、今を考えて、企業家を現代の戦士にたとえるならば、NHKの大河ドラマ風林火山に代表される孫子の兵法も大きな意味を成してくるかもしれないですね。よく知られている使い古された言葉を引用するなら「戦わずして勝つ」勝算が大きい状況になってから戦う。戦う前に勝算を最大限にするということですね。(私も20代のころに好きでその手の孫子、韓非子、歴代の武将の本を読み漁りました。)

福島正伸先生も、事業を始める前に利益が上がるようにしてからはじめなさいといつも言われております。これはどういうことかという事業を始める前に顧客を見つけ、販売予約を取り付けます。そうすれば実際に始める前から利益が見込めます。言い換えれば、始める前に十分な準備をすれば、事業は成功したも同然ということですね。勝原元会長の方針がまさにそれでした。「温故知新」古い時代から受け継がれたものにも素晴らしいものがあります。では今後は、イノベーション、それは、徐々に着実に時代を変えます。人間はアナログなのでデジタル的には変わりませんが、少しづつ変化は訪れます。新メディアの時代、個人の能力が大きく評価される時代が来ると思われます。能力のある人には、より大きくその道が開かれる時代が来ると考えます。われわれ鳥取県東部青年中央会は、今後の人材の宝庫であると思っております。

今年度は、感性を磨き、次の時代を見る直感力を養える1年にすべく、3つの切り口「人間力」「夢現力」「現場力」でそれぞれの委員会のテーマを決め委員会活動を行い、信頼しあえる仲間を作り絆を深めていきます。例会においては刺激を受ける例会になるように、個人、会社に還元できる内容で企画していきます。

また、会員のパワーを必要などころに集中できるようにイベントの方向性もアピール度はそのまま手間をかけないで、みんなが楽しめるように知恵をしぼり工夫を凝らし結束力を高めていきます。会員増強にも力を入れこの会の良いところを新しい会員に伝えるようにサポートしていく体制を強化し会員拡大していきます。中央会らしさを追及し行政、地域に貢献し更なる会の発展に全会員で挑んでいきましょう。

中央会経歴と私の思う中央会

私は平成12年岡会長のときにサンワールド澤さんの紹介で入会しました。入会動機は地元のネットワークづくり、人脈づくりが目的で入会しました。

最初はなかなか理解できなくて出席もぼつぼつでしたが、副委員長、委員長を経験させていただいてから中央会が面白くなり県出向、副会長3年経験しいろいろ勉強させていただきました。入会当時は先輩方にご指導いただきました、今でも声をかけていただき感謝しています。



豊川 仁鉄



飯塚 淳



横山 秀樹



小林 公夫



松川 裕郁



谷浦 浩次

テーマ 「次代を見る」 基本方針 「感性を磨け！」

副会長 平井 義一

意識改革委員会・フロンティア委員会

中央会活動も早いもので6期目を迎えようとしている。思い起こせば5年前の10月、当時の会長をされていた平野OBに「ワンは軽トラ1台に乗っていた時に中央会に入会して、いまでは会社も軌道に乗る会長も出来る様になった」という言葉を聞き、こんなオレでも鳥取の経済団体に所属してエライ人と肩を並べて話をする事ができるのかなあ?と考えていた自分がやけに新鮮に感じる。

そんな謙虚な私でしたが、5年も中央会に在籍していると、あらゆる気象条件、環境の変化にさらされたくましくなったものだと感じます。入会当時、見る人全ての人ですばらしく冗舌で大人で、住む世界の違う、入会した事がまちがいであったらどうか?本気でこの様な事を考えていました。

しかしその点、もって生まれたスーパーポジティブな性格で考えたのが「自分らしく自分なりに、とことんぶつかってみよう!それで中央会がいらなくなって言えばやめたい。」次年度から副委員長を任命され、5期目の役員を迎えようとしている。

中央会は自分にとって挑戦の場所!あと卒業までの数年、雑草魂を持った会員のみんなに、いい手本となる様、引く道なし!!

副会長 西根 伸吾

経営計画委員会

皆さんこんばんは!で始まる青年中央会の副会長を任命されて三期目になりました。初めての副会長のときは期待半分、不安半分でしたが三期目になってだいぶ副会長としての自覚やノウハウもできてきたかなあと思います。

今年度は谷口会長のもと青年中央会を活気のある会・企業が成長できる会・面白い会にしていきたいと思っております。その為に今の会員皆がなにを求めているのかを吸い上げて役員会にドンドンあげていきたいなあと思っております。ですが、今までの「男気」は忘れることなく継続して追求して行こうと思っております。僕の今年のテーマは後継者作りかなあと思っております。どんどんチャレンジしていく若手経営者の育成をテーマに僕が入会した時いろいろな先輩がたから教えて頂いた事を僕なりにアレンジしてもっと会員皆さんと一緒にBIGになって行きたいと思っております。僕も自分の夢がいっぱいあります皆が夢をもって目をキラキラさせて語り合いたいですね!そんな一年になったらいいですね。以上

副会長 細 砂 修 二

身近ing委員会

この7年間の中央会活動のなかで感じたことは、青年中央会に入会されたすべての人に中央会のよさをわかっていただき仲間を増やし将来に役立っていただきたいと思っています。

私は、役員を経験してから会が楽しく会への思いが強くなり自己研鑽に役立ち青年中央会に入会してよかったと実感しています。会員のための副会長を目指します、みなさんと楽しいお酒が飲みたいです。

また、青年中央会は経営者・経営幹部・後継者を育成する「いけす」であり、出合いの場であり、異業者の交流の場である、そこにいろいろな夢・知恵・情報を集結しいろいろな方法で吟味し、吸収でき個人や企業の力になる会だと思っています。

全会員で楽しく活動できる中央会を目指し、環境にやさしい、自慢できる会にしていきたいです。

副会長 清 水 隆 文

カイゼン委員会

今年度、はじめて副会長をさせて頂くことになりました。平成14年度に入会以来、いくつかの役員を経験させて頂きましたが、正直、副会長という役には自分にはまだ早すぎるという気持ちとやってみようという気持ちが交錯しておりました。まだまだ自分に足りない点が多くあると自覚しておりますが、やるからには精一杯やりたいと思っています。

今年度は6つの委員会を3つの切り口「人間力」「夢現力」「現場力」に分けて活動していきますが、その中で「現場力」の1委員会を担当させて頂くことになりました。この委員会は世界的にも知られている「カイゼン(改善)」を1年間かけて勉強し、業種関係なく、自社に持ち帰れる何かを見つけることを目的とします。担当副会長ではありますが、個人的にも委員会活動を非常に楽しみにしています。

最後に、副会長という役は、谷口会長の思いを会員みなさんに伝え、会員みなさんのご意見を会長に伝える架け橋だと思っております。そういうことが出来るように1年間、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

副会長 井 上 誠

クロスメディア委員会

今年度、初めて副会長を務めさせていただき井上誠です。

クロスメディア委員会を担当させていただきます。副会長として右も左もわからない中で、先輩方のアドバイスをいただきながら今年1年間谷口会長年度を支えていきたいと思っております。

平成13年度に入会させていただき今年度で7年目になります。年齢共に経験はまだですが、より良い中央会活動が出来るよう努力します。担当のクロスメディア委員会はブログ等を利用したIT環境の中で、日々の中央会活動を題材として記事にし中央会内に配信、また会の外からも見れる物として予定しております。その日々のITツールの利用により各会員の自然なスキルアップにつながり、また各会員企業にフィードバックすることにより各社の情報発信手段として参考出来るものを作り上げたいと思っております。

さらにデスクネットを最大限に活用した総務業務も行います。19年度のテーマ「次代を見る」基本方針「感性を磨け!」を常に意識し、この1年間がんばりますので、よろしくお願い致します。

6月
卒業例会

ご卒業 おめでとうございます

6月卒業例会を終えて

メンタリング委員会 委員長 西尾 俊一

平成19年6月21日、ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」にて、平成18年度卒業例会を開催いたしました。

メンタリング委員会からは2名がご卒業ということで、一際思い入れが強い卒業例会でしたが、皆様の御陰を持ちまして盛大に行なえましたこと、当委員会一同感謝の念に絶えません。

例会時には、卒業生の皆様へビデオメッセージという形で、皆様のお祝いの気持ちを伝えさせていただきました。普段面と向かっては言えない事も伝えることができました。卒業生の皆様にも喜んでいただけたことと思います。

今回ご卒業された6名の方々は、我々現会員にとって「見本・信頼・支援」を実践されるとても良い「メンター」でした。今後は我々が実践する番です。新しい年度も頑張っていきたいと思います!